



 **不二製油株式会社**

個人投資家向け 会社説明会

2026年9月
不二製油株式会社(証券コード:2607)

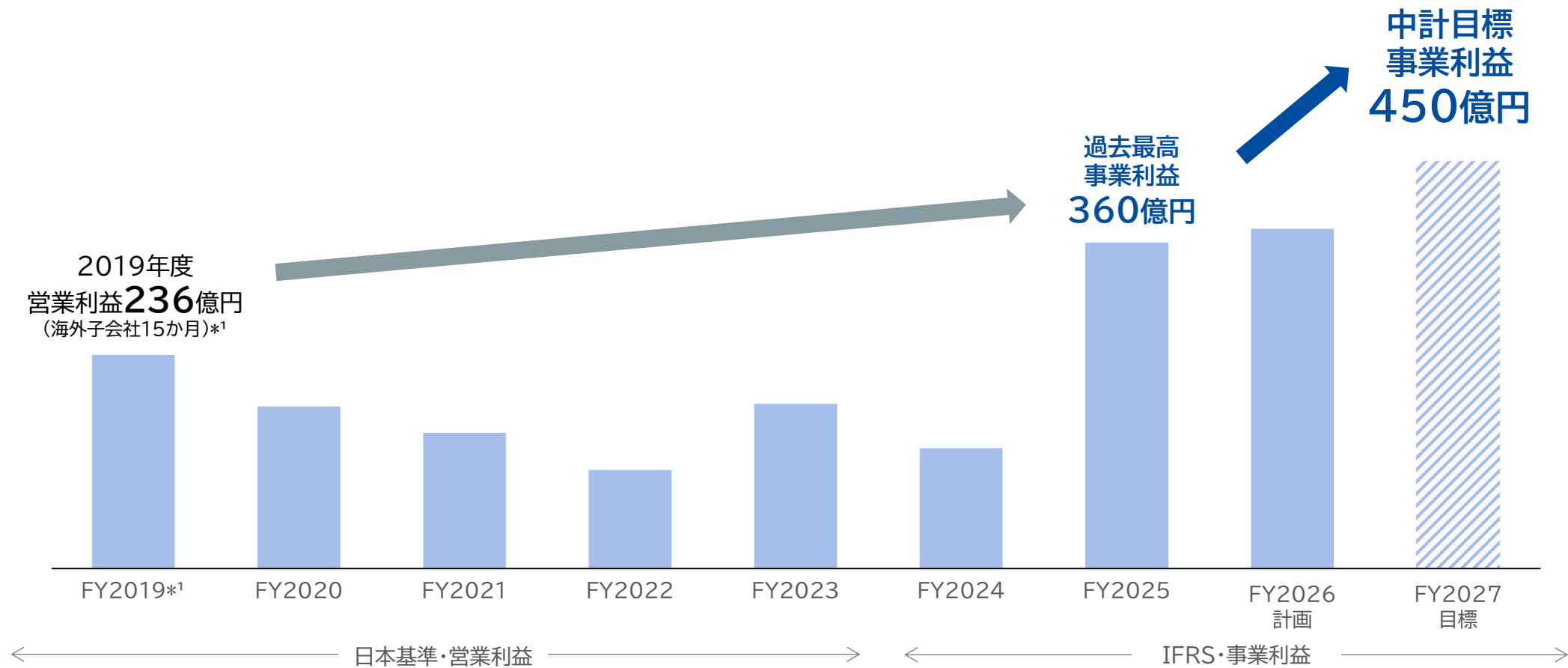
本日お伝えしたいこと

- ・不二製油は、あらゆる食シーンを支える食品中間素材メーカー。
- ・2025年度に過去最高益を達成、更なる成長を目指す。

過去最高利益達成と更なる成長へ

中期経営計画の目標である2027年度事業利益450億円に向け、2026年度も順調な進捗。

不二製油株式会社



2019～2023年度実績は、日本基準の営業利益。2024年度実績、2025年度計画、2027年度計画はIFRSでの事業利益。

*¹ 2019年度は海外グループ会社19社の決算期の変更により、当該連結子会社は2019年1月1日から2020年3月31日までの15か月決算。

*² 2025年度よりIFRSを任意適用。2024年度の数値はIFRSベースに組み替えて表示。

1章

不二製油のご紹介

2章

中長期の成長戦略

3章

株主還元

1章

不二製油のご紹介

2章

中長期の成長戦略

3章

株主還元

会社概要

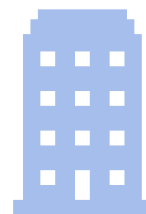
不二製油株式会社

商号	不二製油株式会社
証券コード	2607(東証プライム)
代表取締役 CEO	大森 達司
本社	大阪府泉佐野市

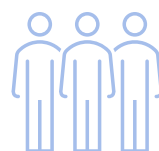


大阪府泉佐野市の本社・阪南事業所

設立
1950年



従業員
5,891人



2026年3月31日時点

業績
売上高 7,723億円
事業利益 360億円



2025年度実績、IFRS

特許取得数
3,784件



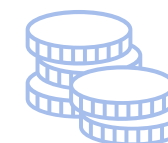
2026年3月31日までに登録された
不二製油(株)の全世界における
特許件数の合計。実案・意匠を含む。

海外売上高比率
69%



2025年度実績、IFRS

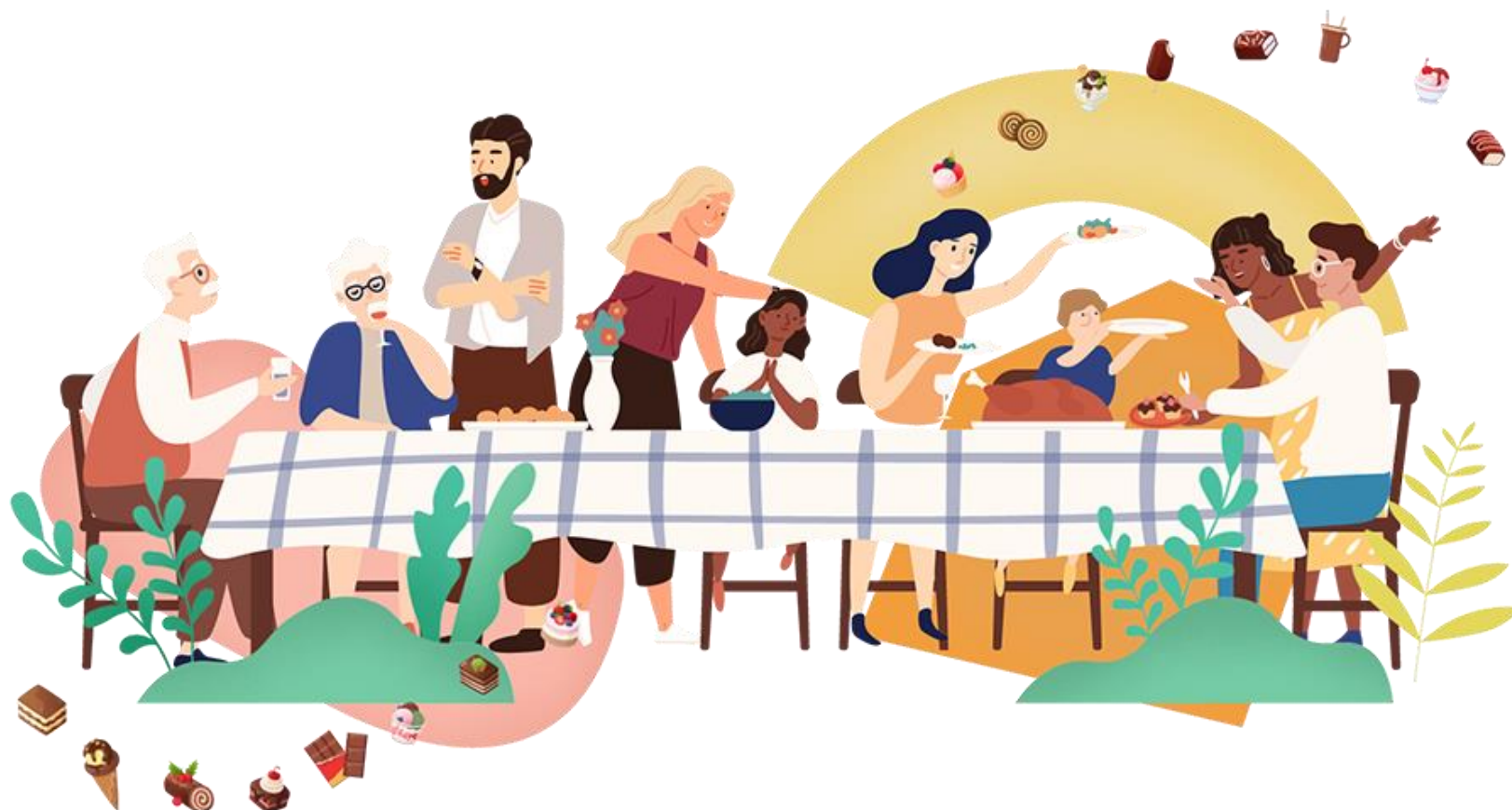
時価総額
約4,000億円



2026年8月31日時点

会社紹介動画

不二製油株式会社



QRコードを読み込み、
もしくはクリックいただくと
ご視聴いただけます。

B to B の食品中間素材メーカー

不二製油株式会社

4つのユニークな事業展開により、消費者のあらゆる食シーンを支える。





植物性油脂事業

売上高 **2,711** 億円 事業利益 **334** 億円

シェア
チョコレート用油脂CBE*1

日本 **1**位
世界 **トップ3**



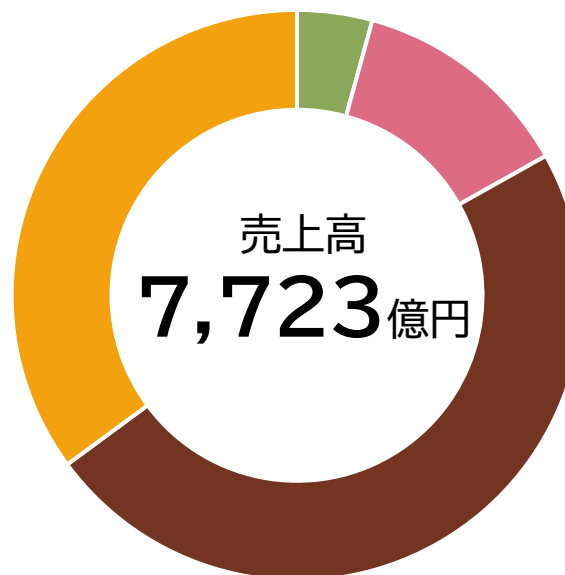
業務用 チョコレート事業

売上高 **3,709** 億円 事業利益 **24** 億円

シェア
業務用チョコレート

日本 **1**位、世界 **3**位

2025年度実績
(IFRS)



大豆加工素材事業

売上高 **329** 億円 事業利益 **▲9** 億円

シェア
水溶性大豆多糖類

日本 **1**位
世界 **1**位



乳化・発酵素材事業

売上高 **974** 億円 事業利益 **11** 億円

シェア
業務用ホイップクリーム*2

日本 **1**位

*1 Cocoa Butter Equivalent. カカオバターに似た性質を持つ代用可能なチョコレート用油脂。

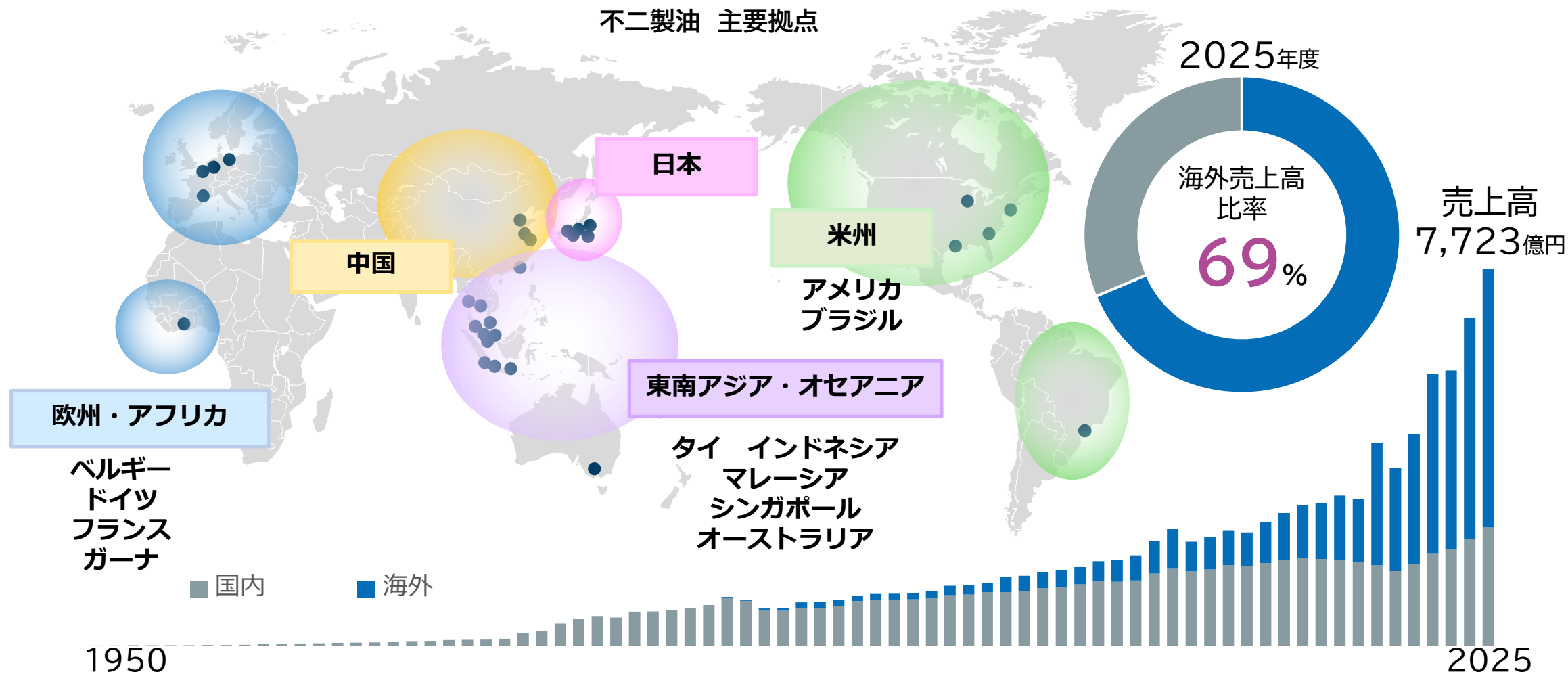
*2 植物性脂肪を含むホイップクリームを指す。

海外事業を拡大

不二製油株式会社

1980年代より本格的に海外進出。2010年以降、M&Aを進め海外事業を拡大。

不二製油 主要拠点



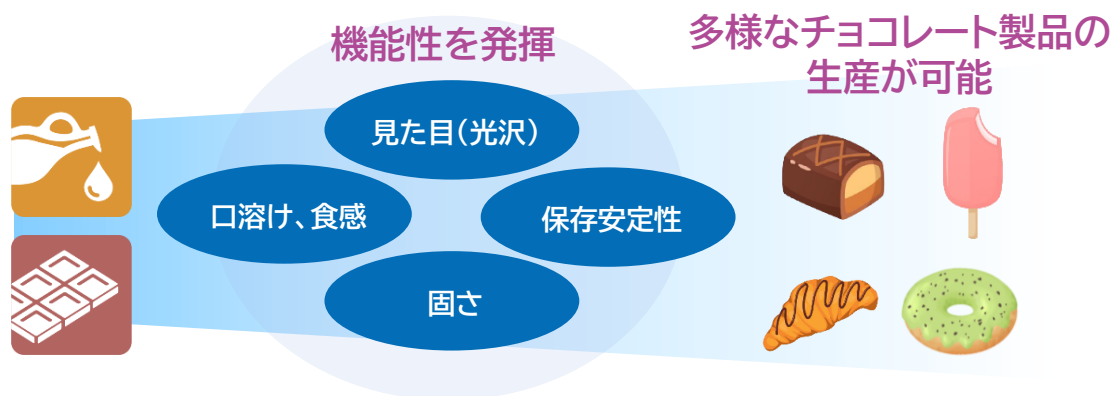
不二製油の強み

不二製油株式会社

“おいしさと機能性を創出する”強みが持続的成長の源泉に。

油脂、チョコレートの両事業を展開

チョコレートのおいしさと機能性を、
油脂技術で自在に設計。



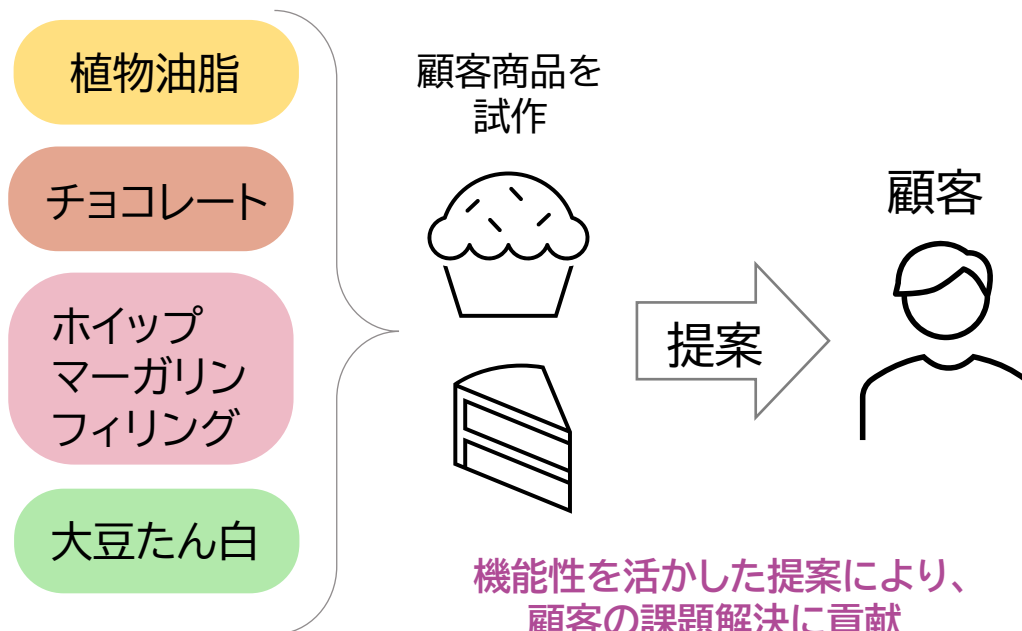
地域や季節に応じた
融点の調整



固化速度の調整による
生産効率の改善

顧客の課題解決に貢献する提案

多様な機能性を発揮する製品群を展開し、
顧客の要望に応じて様々な提案が可能。





チョコレート菓子
暑いと溶ける
寒いと口溶けしづらい



チョコレートアイス
噛んだ時にコーティング
チョコレートが剥がれる

チョコレート用油脂の組み合わせにより

季節・気候・食べ方に応じた
おいしさを実現



チョコレート用油脂
(植物性油脂事業)



コンパウンドチョコレート
(業務用チョコレート事業)

ホイップクリーム
当日おいしいホイップクリームも
翌日になると、食感が変わる



油脂や乳化・発酵の技術により

**みずみずしさを保つ
ホイップクリームを設計**



ホイップクリーム
(乳化・発酵素材事業)

酸性乳飲料

時間がたつと、乳の成分が沈むため
長期流通が難しい



おからを原料にした機能剤により

**時間がたっても
安定した状態を保つ**



機能剤
(大豆加工素材事業)

1章

不二製油のご紹介

2章

中長期の成長戦略

3章

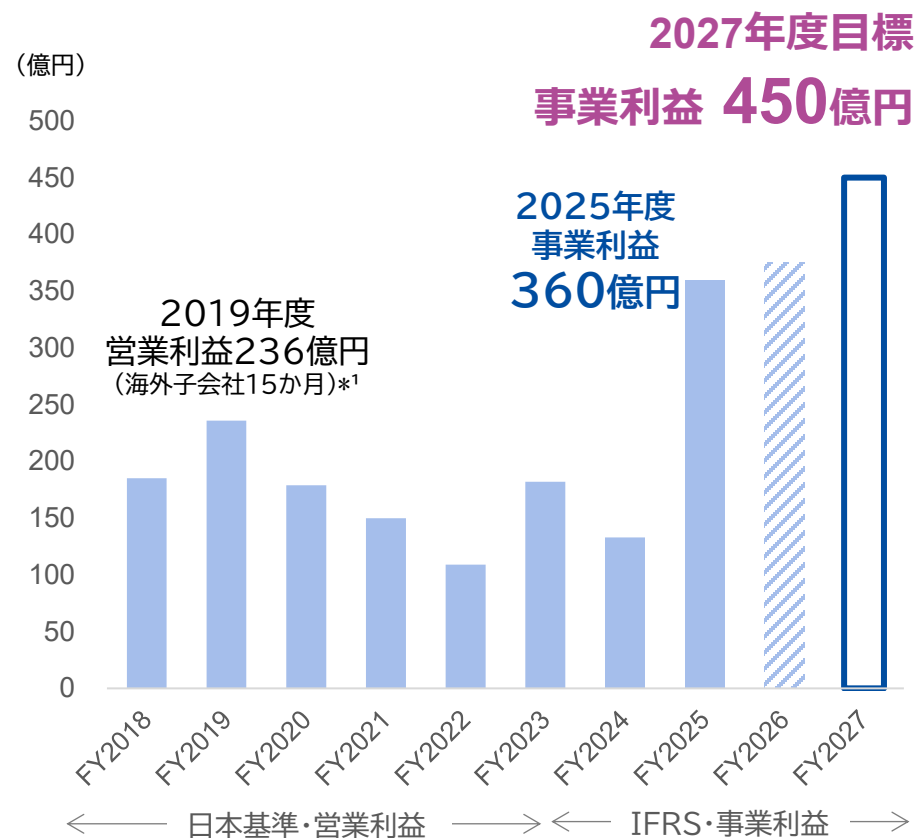
株主還元

中期経営計画 財務目標

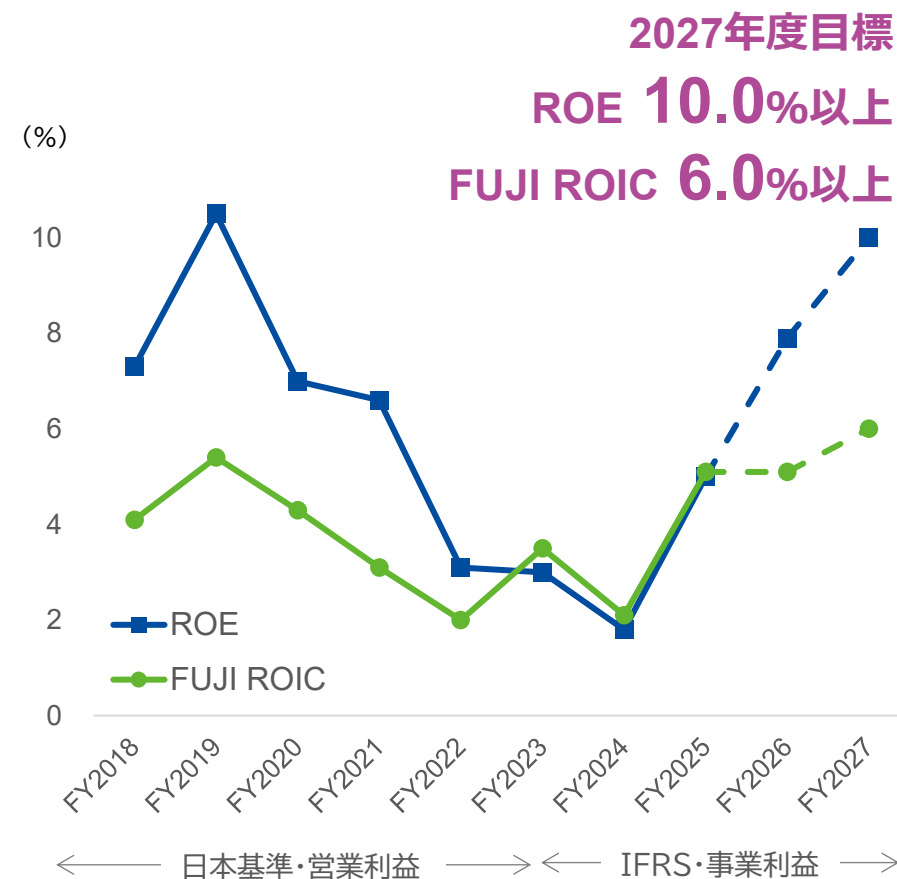
不二製油株式会社

2027年度に、事業利益450億円の達成を図る。

利益目標



ROE・FUJI ROIC目標



2019～2023年度実績は、日本基準の営業利益。2024年度実績、2025年度計画、2027年度計画はIFRSでの事業利益。

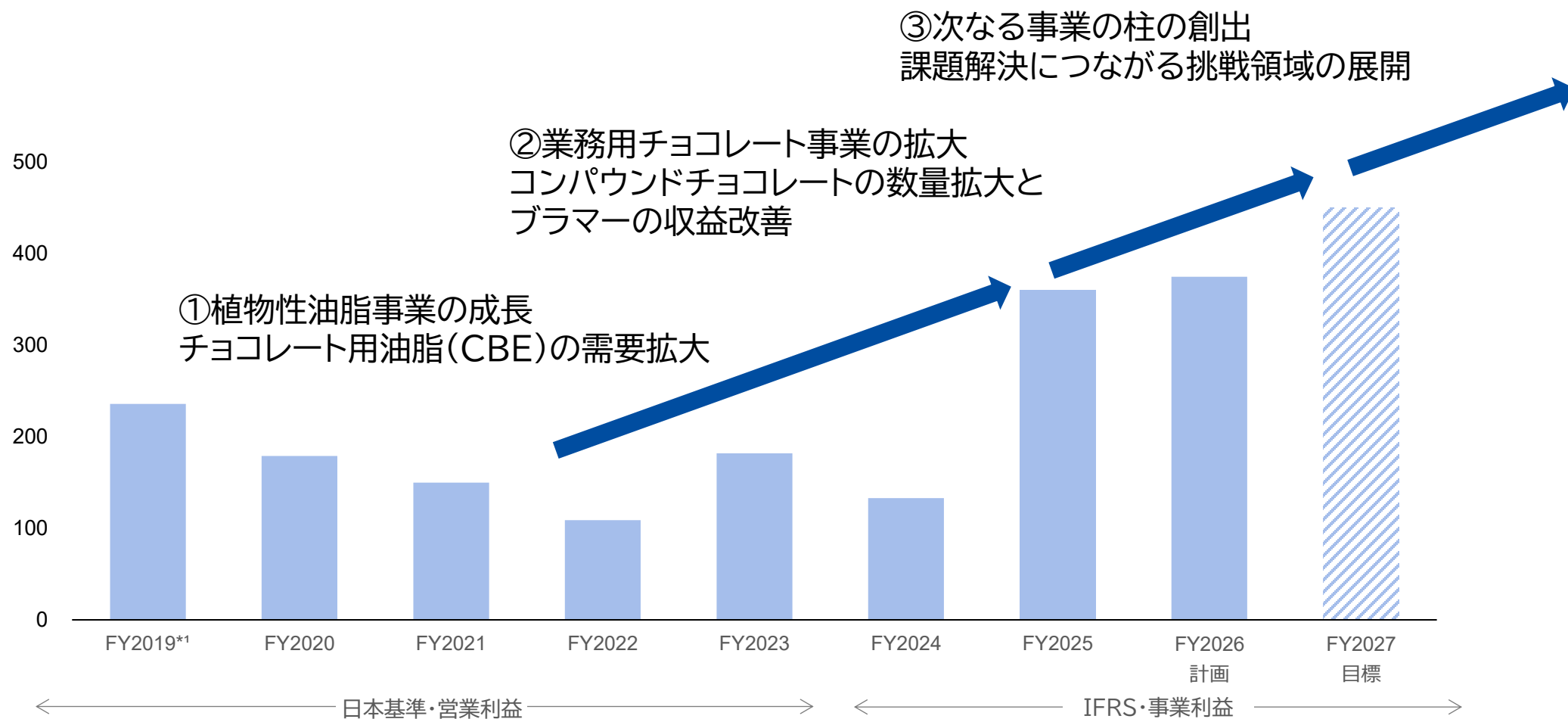
*1 2019年度は海外グループ会社19社の決算期の変更により、当該連結子会社は2019年1月1日から2020年3月31日までの15か月決算。

*2 2025年度よりIFRSを任意適用。2024年度の数値はIFRSベースに組み替えて表示。

*3 FUJI ROIC=税引後事業利益÷(運転資本+固定資産+持分法投資) 2020年度以前は、ROICにて記載。ROIC=営業利益×(1-法人税率)÷(有利子負債+自己資本)

3つの成長ドライバー

不二製油株式会社



2019～2023年度実績は、日本基準の営業利益。2024年度実績、2025年度計画、2027年度計画はIFRSでの事業利益。

*1 2019年度は海外グループ会社19社の決算期の変更により、当該連結子会社は2019年1月1日から2020年3月31日までの15か月決算。

*2 2025年度よりIFRSを任意適用。2024年度の数値はIFRSベースに組み替えて表示。

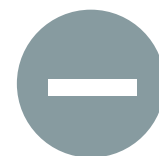
カカオ価格の変動が追い風に

不二製油株式会社

カカオ相場は2024年から2025年にかけて大きく変動し、不二製油の事業環境が変化。



チョコレート用油脂(CBE)、
コンパウンドチョコレートの
需要の高まり



ブラマーでの
カカオ価格変動に伴う損失
(FY2024~FY2025に大幅損失計上)

チョコレート用油脂(CBE)



植物性油脂事業

不二製油株式会社

チョコレート用油脂(CBE)販売が大きく伸長し、植物性油脂事業は2年連続で過去最高益を達成。

チョコレートの主な原材料

ピュアチョコレート



ココアパウダー



砂糖



カカオバター

コンパウンドチョコレート



ココアパウダー



砂糖



カカオバター

代替可能

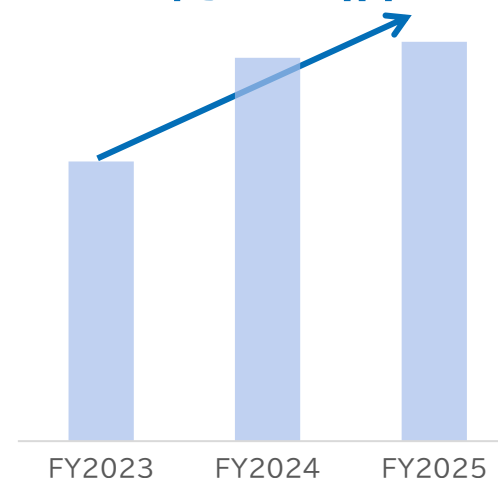


CBE*

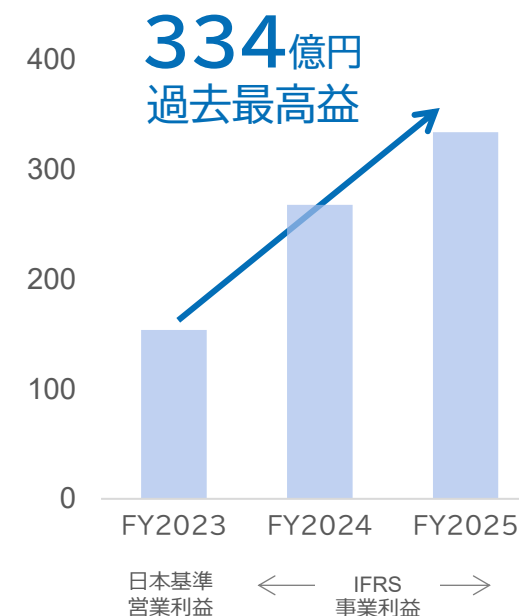
カカオバターに代替可能な
チョコレート用油脂(CBE)の問い合わせが急増

2025年度実績

CBEの販売数量
(不二製油グループ会社向けの販売を含む)
カカオ価格高騰前(FY2023)より、
約1.3倍



植物性油脂事業
利益推移



* CBE: Cocoa Butter Equivalent。カカオバターに似た性質を持つ代用可能なチョコレート用油脂。

コンパウンドチョコレート



業務用チョコレート事業

不二製油株式会社

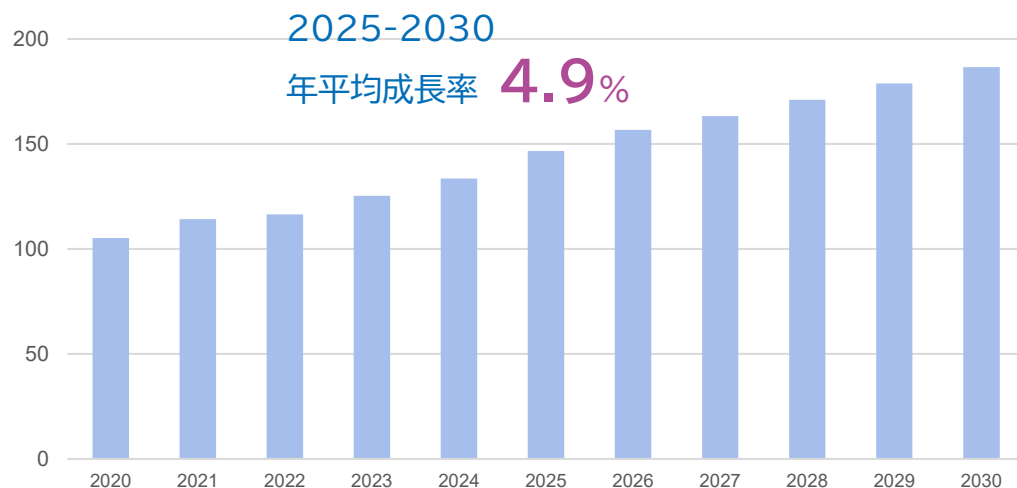
カカオ価格変動を背景にコンパウンドチョコレート需要の拡大が加速。強みを発揮し、今後の成長ドライバーに。

チョコレート菓子マーケット予測

人口増加、経済成長に伴い、チョコレート菓子の市場規模は拡大する見通し。

世界のチョコレート菓子市場

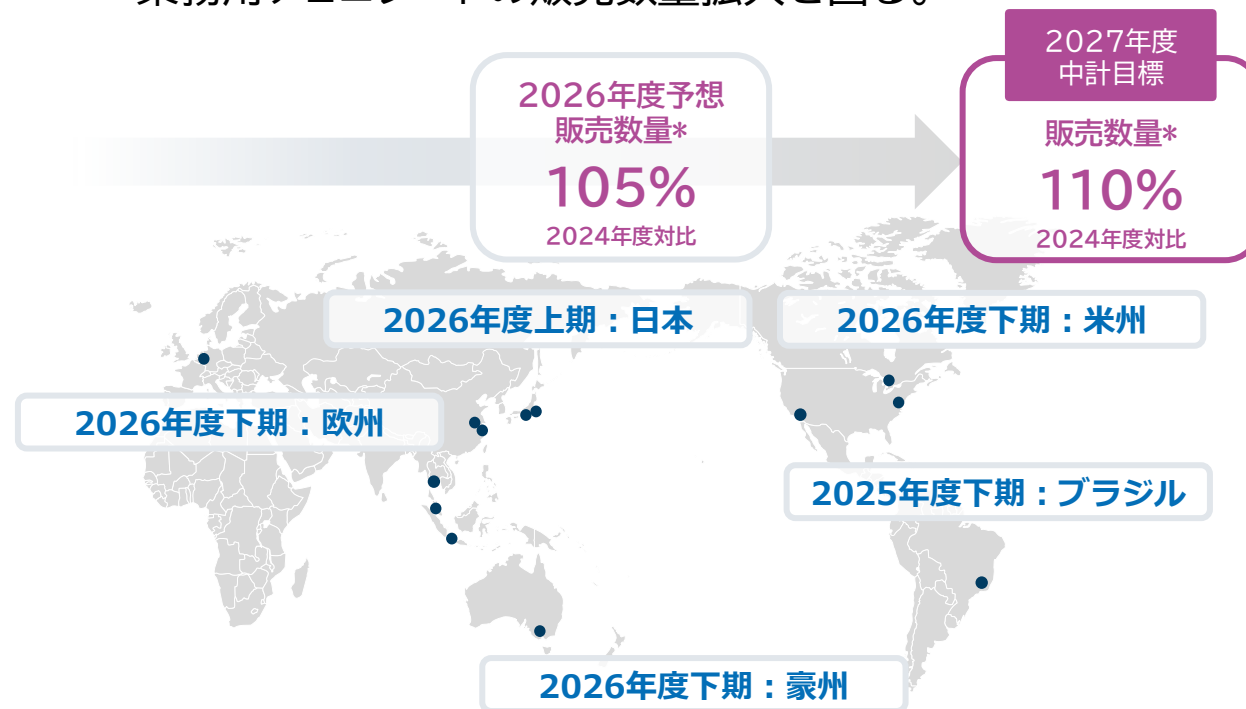
Unit: billion US\$



参照:Euromonitor Chocolate Confectionery 2026
Geography: world, category: chocolate confectionery
Data type: Retail Value RSP

設備投資による拡販施策

各エリアにて設備投資を推進。
業務用チョコレートの販売数量拡大を図る。



* 販売数量は、ブラマーのカカオ加工品を除き集計。

ブラマー社の収益改善



業務用チョコレート事業

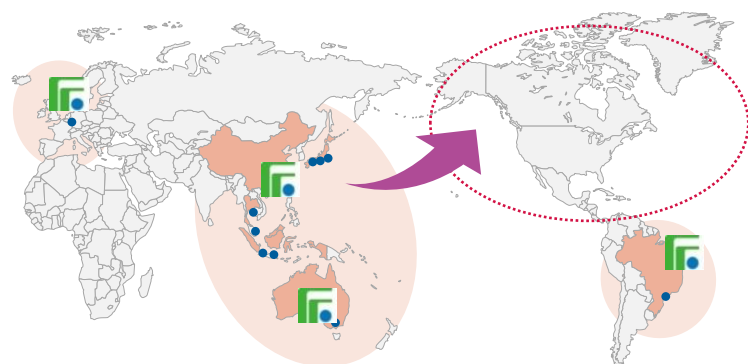
不二製油株式会社

世界最大のマーケットである米国への足掛かりとして、2019年にブラマーを買収。

ブラマー社 買収目的

シナジー創出により、
米国でコンパウンドチョコレートの成長を目指す。

単一国家で世界最大のチョコレート市場である北米へ事業展開



ブラマー買収前、北米は
チョコレート事業未展開エリア

買収以降の課題

- ①工場老朽化
- ②カカオ価格変動影響

構造改革(2024年3月公表)、
カカオ加工事業の最適化により
課題改善は進捗。

不二製油の成長ドライバーに

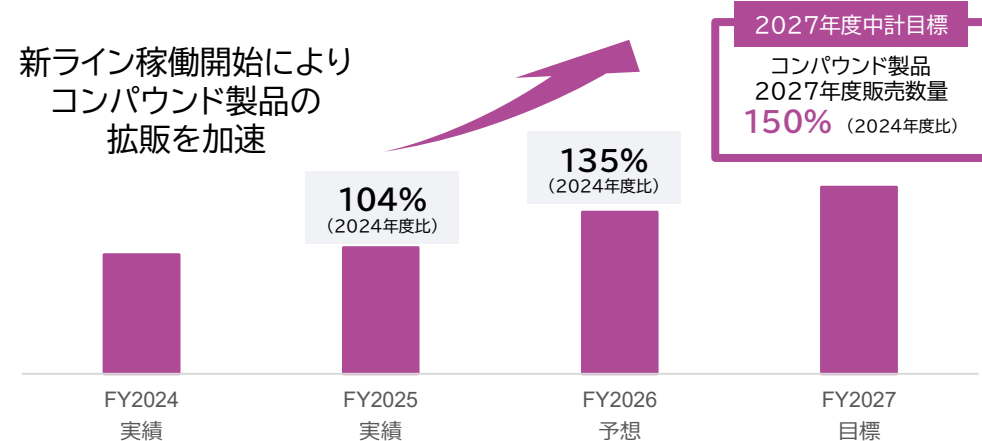
不二製油グループの油脂技術を活かした差別化戦略と
課題解決型の提案により、販売数量拡大を図る。



2026年度稼働予定のカナダの新ラインでは、
付加価値型コンパウンド製品を増産予定。

ブラマー コンパウンド製品 販売数量

新ライン稼働開始により
コンパウンド製品の
拡販を加速



挑戦領域

不二製油株式会社

新たな収益の柱の確立に向けた取り組みを推進。



動物脂のような甘みとコクを持つ新ブランド「Melavio」
(日本)



カカオ豆由来の原料不使用の
ミルクチョコレートタイプ
(日本)



海外での
CBEコンパウンドの展開

(アメリカ)

(ブラジル)



植物ミルク発酵素材シリーズの
新ブランド「DEALI®(デアリ)」
(日本)



動物性食品特有の風味や
満足感を表現した植物性ダシ
「MIRA-Dashi®」
(日本)



課題解決型大豆たん白
「ソヤセル」
(日本)



1章

不二製油のご紹介

2章

中長期の成長戦略

3章

株主還元

株主還元

不二製油株式会社

利益伸長を背景に増配を計画。

配当
方針

- ・ 配当性向30%～40%
- ・ 安定的かつ継続的な配当を実施

1株あたり配当金

中間

期末

合計

2027年
3月期

31円

31円

62円

年間10円の増配を計画

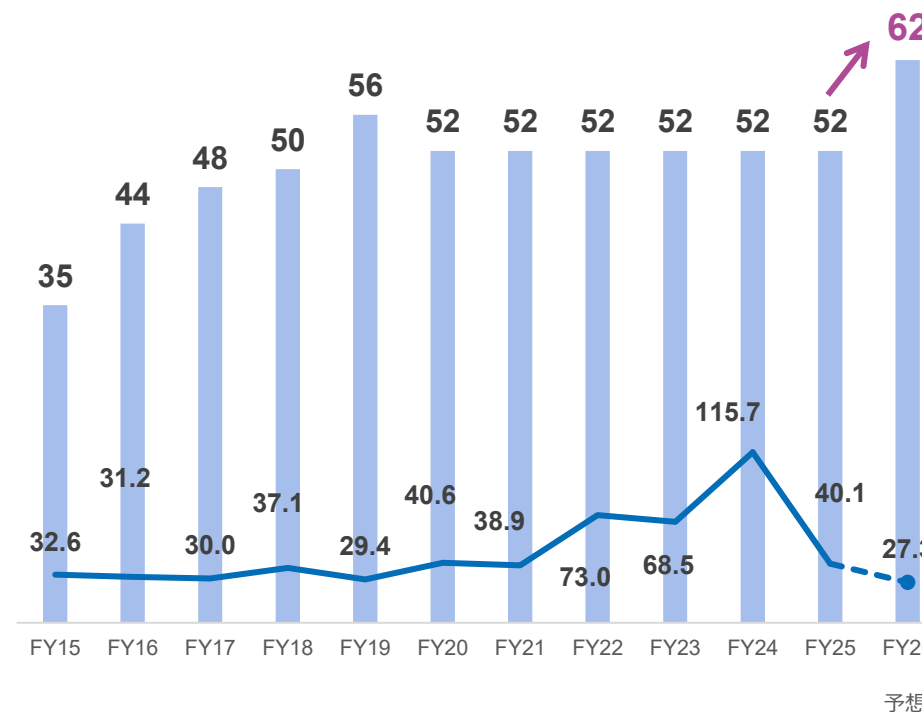
2026年
3月期

26円

26円

52円

1株当たり年間配当金推移



1株当たり配当金 (円)

配当性向 (%)

* 2026年度は予想値

* 2024年度配当性向は、IFRSベースに組み替えて算出。

株主優待

不二製油株式会社

チョコレートやプラントベース製品など当社グループ関連製品をお届け。

保有株数 (単位:株)	当社関連製品
100～200未満	1,000円相当
200～1,000未満	3,000円相当
1,000～	4,500円相当

保有条件:100株以上を半年以上継続保有

対象株主:同年度の9月末日および3月末日を基準日とする

株主名簿に同一株主番号・100株以上保有で記載された株主様

2025年株主優待内容(3,000円相当)



*写真はイメージ

*詳細は当社HP IR情報「個人投資家のみなさまへ」をご覧ください
<https://www.fujioil.co.jp/ir/individual/>



不二製油株式会社

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、予想の前提、予測を含んで記載しており、その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。また、実際の業績は、今後様々な要因によって、異なる結果となる可能性があります。

